

臨床研究に関するお知らせ（1023）

【研究課題名】

食道癌術前化学療法 FP における制吐薬が腎機能に及ぼす影響の
既存診療情報を利用した後方視的調査

【内容】

食道癌術前化学療法 FP では高用量のシスプラチンを用いますが、高頻度に発現する食欲不振や腎障害といった副作用が、しばしば問題になります。

そこで昨年、FP 療法における制吐薬を段階的に改定しました。その結果、制吐薬の違いが腎機能に影響を与える可能性が考えられたため、それらを明らかにすることを目的として調査研究を実施します。

【対象】

2008 年 4 月から 2011 年 3 月の期間中に、胃腸外科で FP 療法を受けた方が対象となります。（FP 療法は、食道癌の術前に 5 日間行われる、シスプラチンとフルオロウラシルという抗癌剤を 2 剤併用した治療をさします。通常、術前に 2 クール行います。）

【方法】

カルテ情報の調査を行い、食欲不振と腎機能の関係を調査します。

参加を希望されない場合には、2011 年 7 月 31 日までに金沢大学附属病院薬剤部 崔（さい）までお知らせください。

なお、本研究への参加は自由意思です。期間内であれば、参加を拒否・撤回することが可能です。また、これによって患者様が不利な扱いを受けることはありません。

2011 年 2 月

金沢大学附属病院薬剤部
研究実施責任者 崔 吉道

電話 076-265-2046 (直通)